

# 《令和2年第1回大空町議会定例会一般質問通告内容集約書》

【4名9件】

[令和2年2月27日整理・大空町議会事務局]

質問日	順	質問者	質問事項	頁
3月6日 (金曜日)	1	上地 史隆 議員 (質問時間30分)  質問受付： 令和2年2月21日 午後0時31分	1. ひがしもこと芝桜公園の管理について  2. ボランティアの確保と育成について	1
	2	三條 幸夫 議員 (質問時間30分)  質問受付： 令和2年2月25日 午前10時25分	1. 新型コロナウイルスへの感染予防対策について  2. TPP・日米貿易協定による農業への影響について  3. 大空町内河川の管理について	2
	3	後藤 忍 議員 (質問時間30分)  質問受付： 令和2年2月27日 午後0時05分	1. 両福祉社会との今後の関わりについて	3
	4	松田 信行 議員 (質問時間30分)  質問受付： 令和2年2月27日 午後4時55分	1. 地域担当職員制度について  2. 定住自立圏構想について  3. 障がい者（児）のライフサイクルにおける支援のあり方について	4

- ※ 一般質問は「一問一答方式」にて、通告順により行われます。
- ※ 傍聴席入口に掲示の傍聴規則を順守の上、携帯電話の電源はお切りくださるよう御協力をお願いします。
- ※ 御不明な点などがありましたら、議会事務局までお問い合わせください。

質問事項	質問の要旨	質問相手
1. ひがしもこと芝桜公園の管理について	<p>道東の春を代表する我が町の重要な観光資源の一つであり、大空八景としても多くの観光客を迎え入れています。</p> <p>また、海外から来られる観光客も多く見かけるところです。</p> <p>①ここ数年の入園者数と園内各施設の利用状況について伺いたい。</p> <p>②「全国芝桜フォーラム in 大空町」の支援内容について伺いたい。</p>	町長
2. ボランティアの確保と育成について	<p>ボランティア活動は、個人の自由意志に基づきその技能や経験、時間等を活用して社会に貢献するものですが、近年、少子高齢化による人口減少で会員の確保や育成が難しくなっている自治体も出てきています。</p> <p>大空町のボランティア団体の活動や会員の確保などの現況はどのようになっているのか。</p>	町長

質問事項	質問の要旨	質問相手
1. 新型コロナウイルスへの感染予防対策について	大空町の感染予防対策の取り組みは。	町 長
2. TPP・日米貿易協定による農業への影響について	現時点で想定される、大空町農業への影響と対策は。	町 長
3. 大空町内河川の管理について	雑木等の繁茂により、大雨時に氾濫し流域に影響を与える箇所はないか。  ①国・道が管理する河川の状況は。  ②大空町が管理する河川の状況は。	町 長

質問事項	質問の要旨	質問相手
1. 両福祉会との今後の関わりについて	<p>東藻琴福祉会は平成4年、女満別福祉会は平成6年に運営が開始されています。これまで、両福祉会は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行い、地域福祉の推進に努めて頂いています。</p> <p>今後、支援ニーズの多様化、特に令和7年（2025年）以降の医療や介護のニーズがさらに高まることが予想され、福祉の専門家を多く抱えている社会福祉法人が、町と共に福祉施策を担って頂く重要なパートナーとして考えられると思います。</p> <p>①両福祉会が所有する施設の状況と運営上の課題は</p> <p>②平成24年度及び28年度に行われたコンサルタント調査は、どのような内容のものか</p> <p>③地域包括ケアシステムの確立に向け、両福祉会と町との今後の関わりについて</p>	町長

質問事項	質問の要旨	質問相手
1. 地域担当職員制度について	<p>住民と行政の協働によるまちづくりを推進するため地域担当制度を導入し、地域活動の活性化及び行政運営の円滑化を図ることを目的として実施されていますが、これまでの取り組み状況と評価・検証について伺います。</p>	町長
2. 定住自立圏構想について	<p>網走市と大空町において、平成23年、定住自立圏形成協定が締結されました。同年、網走市大空町定住自立圏共生ビジョンが策定され、平成28年には第2次網走市大空町定住自立圏共生ビジョンを策定し、今日に至っています。</p> <p>①これまでの取り組み状況と課題について</p> <p>②人口減少が進む中、オホーツク圏域における定住自立圏構想の推進について</p>	町長
3. 障がい者（児）のライフサイクルにおける支援のあり方について	<p>子供達が健やかに育ち、安心して子育てをしていくためには、地域社会全体で支えていくことが重要であり、障がいがあることで不安や負担にならぬように支援が必要です。</p> <p>このため、教育や就労支援を含めた長期的な関わりが重要であり、現在の支援状況について伺います。</p> <p>①幼児期・学齢期における特別支援教育の現状について</p> <p>②学齢期における放課後の居場所の確保について</p> <p>③青年・成人期における相談支援・生活支援・就労</p>	<p>教育長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>